

小児喘息後の全身落屑を経て皮膚症状が少量となった成人アトピーの経過 (44 歳 成人)

症例 ID：001-40-TY3 | 記録日：2016 年 9 月 20 日

1. 診断・治療前経過

小児期から中学生頃まで喘息があり、その後、喘息が落ち着くと皮膚症状が出るようになりました。就職後に東京で受診し、ステロイド外用薬を使用したと考えられます。

症状が強い時期には、歩いた場所に皮膚片が落ちるほど全身の落屑がみられました。大阪へ戻った 23 歳頃から松本医院へ通院されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	就職後に皮膚症状に対するステロイド外用薬を使用したと考えられます。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	23 歳頃の松本医院受診前に中止したと考えられます。
来院前／後	来院前に使用歴がある可能性があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小児期～中学生	喘息期	喘息症状が続きました。
その後	皮膚症状出現	喘息が落ち着いた後にアトピー症状が出ました。
就職後	全身悪化	全身の落屑が強く、歩いた場所に皮膚片が落ちる状態でした。
23 歳頃	治療開始	大阪へ戻り、松本医院で治療を開始しました。
その後 20 年以上	長期経過	出張の合間に煎じ薬を使用し、自分の生活に合わせて治療を続けました。
44 歳時	経過中	皮膚症状は時折少量出る程度まで軽減しました。

4. ピーク時期

ピークは、全身の落屑が強く、移動した場所に皮膚片が落ちる状態となった就職後の時期です。

5. 困りごと

- 全身の落屑により、衣類や生活空間の清掃が必要でした。
- 出張が多く、煎じ薬を継続することが難しい時期がありました。
- 鼻炎症状が残りました。

6. 経過のまとめ

全身の落屑が強い時期を経ましたが、長期の通院経過の中で、皮膚症状は時折少量出る程度まで軽減しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。